

浜田圏域地域医療構想調整会議 議事概要

【日時】 令和4年12月22日（水） 19:00～21:00

【場所】 浜田合同庁舎 2階 大会議室（Web 併用）

【出席者】 浜田市・江津市医師会長
医療連携推進コーディネーター
病院長ほか【浜田医療センター、済生会江津総合病院、西川病院
西部島根医療福祉センター、山崎病院、山根病院三隅分院】
介護支援専門員協会会長、江津ケアマネジャー一部会部会長
島根県訪問看護ステーション協会浜田支部 支部長
全国健康保険協会島根支部 企画総務部長
浜田地区広域行政組合（事務局長、介護保険課長）
浜田市役所（健康医療対策課長、医療統括監）
江津市役所（健康医療対策課長、地域包括支援センター長）
事務局 合計 33名

【議事内容】

- 1 医療・介護連携部会会長選出について
- 2 地域医療構想の状況について
 - (1) 圏域の病床の状況
 - (2) 外来機能報告について
 - (3) 有床診療所の開設について
- 3 在宅医療・介護連携について
 - (1) 浜田市、江津市の在宅医療介護連携推進事業について
 - (2) 医療連携推進コーディネーター配置事業について

【主な意見・協議結果について】

- 1 医療・介護連携部会会長選出について
○江津市医師会長 能美委員 選出
- 2 地域医療構想の状況について
 - (1) 圏域の病床の状況
○各病院、新型コロナウイルス感染症の感染拡大の影響により、確保病床がある医療機関は感染拡大のため病床拡大の対応を求められている。コロナの確保病床のない療養

病床を持つ医療機関は、急性期医療機関からの転院受入の要請が多くある状況。

- 急性期を担う医療機関は 2040 年を見据え、病床を減らす方向
- 各医療機関とも、医師をはじめ看護師、介護職の確保が非常に困難な状況であり、人材確保ができないことが病床数の運営に大きく影響している。
- 医療ニーズの高い患者の県外施設への流出の課題は継続しており、介護医療院の整備計画ではプラス 41 床を位置づけた。R5 年度に介護医療院開設予定の事業所があるが、計画した数には届いていない。9 期計画でも引き続き介護医療院整備の議論を継続予定。

(2) 外来機能報告について

- 紹介重点受診医療機関と地域医療支援病院の違いがわかりにくい。
- 紹介受診重点医療機関は一般病床 200 床以上の医療機関に限られ、当圏域では浜田医療センターの 1 医療機関のみ。浜田医療センターでは、紹介受診重点医療機関となる意向は持っておられるが、国のデータが示された後検討し決定予定。
- 外来医療機能報告の報告期限が延長になっており、紹介受診重点医療機関等の圏域協議の時期は R5 年 5 月～6 月頃となる予定。

(3) 有床診療所の開設について

- 有床診療所(5 床)の開設について、合意を得た。

3 在宅医療・介護連携について

- 医療介護連携シートの活用で、医療機関の医師とスムーズに連絡できるようになった。
- 在宅の分野について多職種が関わるが、各職能団体同士の相互理解をし、地域の課題や地域を支えるための方策等検討する機会が必要。